

タイトル	朗読発表会をする
目的 (この活動で何をするのか、何ができるようになるのか。)	読む。 物語を感情を込めて読む。 協働
レベル	CEFR A2-2、初級後半から中級
活動形式	朗読劇を演じる
活動形態	グループワーク
準備	ブルックス文庫レベル2 スケジュール表（グループの活動をlogするようにblankを用意する）
時間	クラスでは2回集まる程度 練習は各グループ毎なので、集まる回数は発表会に合わせて調整。
方法	場面設定。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本語クラスで学芸会のような朗読発表会をする。</li> </ul> <b>1 時間目、2 時間目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● グループを決める。</li> <li>● 朗読する物語を選ぶ。</li> <li>● グループで物語を読んで内容を把握する。</li> </ul> <b>2 時間目以降</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各グループで朗読の練習</li> </ul> <b>しあげ</b> <b>朗読発表会</b>
バリエーション／コメント	教師は、内容把握のための手助けをする。 同じ物語を二つのグループがやる事になっても構わない。
作成者／作成年	穴井宰子 2013 年